

麻生全国知事会会長会見概要

【日時】 平成20年9月22日（月） 18:35～18:55

【場所】 福岡県庁会見室

【出席者】 麻生全国知事会会長（福岡県知事）

【件名】 ○果敢な地方分権改革を求める～麻生太郎自由民主党新総裁誕生に当たって～
○メラミンが混入した中国製乳製品等の安全対策の取組について

（記者）

よろしくお願いします。

（麻生全国知事会会長）

はい。緊急に知事会長としての会見をしたいと思います。

第1点は、麻生太郎自由民主党の新総裁が先ほど誕生いたしました。これについての我々の期待、求めるものであります。これは一言で言いますと、果敢な地方分権改革をやってもらいたいということでございます。

麻生新総裁でございますが、かねて総裁候補のときにも、私どもは地方分権問題についてどのような考えであるかということについての公開質問をした訳なんですけれども、そのときも麻生新総裁は地方分権ということを非常に力説されておりました、どうしても日本がやらなければならない必須の改革であるという考え方でございました。かねて、地方分権については熱心な方でございます。このような意欲を明確に示されておりますので、是非、果敢な地方分権改革をしてもらいたいということでもあります。

具体的に申し上げますと、第二期地方分権改革、これは非常に広範囲なものになるわけでありまして、国の権限・財源の地方への移譲。それから、国と地方の税源配分を5：5にする。さらに国の出先機関を廃止・縮小、これによって二重行政を解消する。こういうことを中心とした第二期分権改革を是非、果敢に行ってもらいたいと思います。

一方で、現在の地方の情勢を見ますと、一つは地方財政が極めて困難な状況になっている。この大きな理由は、地方交付税の歴年にわたる削減でございます。5兆円強であります。これを我々は復元・増額を求めています。これを実行してもらいたい。

さらに、地域については少子高齢化が進んでいますから、地方再生対策。また地方の景気が落ち込み始めています。景気対策を効果的に実施すること。

さらに今の日本の社会の中で非常に大きな問題は、年金とか医療制度をはじめとします社会保障制度につきましても信頼感が揺らいでいる。これが将来に対する不安を大きくし、また国民が自信をなくしているということであると思います。したがって、安心できるような制度改革をきちんと再構築することを求めたいと思っています。

もう一つ、このような時期でございますけれども、知事会としましては、今非常に問題となっていますメラミンが混入した中国製の乳製品の安全対策について、ぜひ国のほうでこういう点をしっかりやってもらいたいという提言を行います。

ご承知のとおりでありますけれども、一部の加工食品には、乳製品からさらに進んで加工食品の中でもメラミンが入っておることが判明したということで、事業者による自主回収が行われるということで、このことの広がりが一挙に大きくなりつつあります。

一方で中国のほうでは、非常に多くの子供たちが、メラミンによる腎臓障害といった病気になっているということが報じられているわけでございます。

この3枚とじの中の最後が知事会としての要請なんですけれども、今申し上げたような背景のもとに、4点、国のほうに要請をする考えでございます。

第1点は、安全性が確認されるまで中国からの乳製品の輸入を明確に停止するということとし、これを公表するということとあります。いろいろ伝えられることによりまして、輸入手続を停止しているというようなことが言われております。この手続を停止するというのはどういうことなのか。いつでも再開しようとしているのか、あるいは本当の意味でとめているのかよくわからない措置をとっています。

これはやはり、我々としては輸入停止をするということで、窓口の状況判断によって手続が進められるのか、進められないかわからないということではなくて、はっきり停止をし、これを方針として明確に公表するということを求めたいと思います。

それから、メラミンの混入が疑われます中国産の乳及び乳製品、また、これらを原材料とする食品の国内への輸入、流通の実態をできるだけ迅速に解明して、ぜひ我々のほうに情報提供をお願いしたいということであります。

それから3番目の点は、乳製品あるいはこれを原料とする食品の輸入業者、これ販売と書いていますが、販売はミスプリでございます。輸入業者については、自主検査をきちんと行うように指導し、必要な場合には、商品、製品の回収を指導するという体制を国でつくってもらいたいと思います。

それから4番目には、我々は間接的に新聞報道で、中国の中でいろいろな対策がとられつつあることは承知をいたしておりますけれども、日本政府としては、明確に混入に対する対処、どのような実態であるかという正確な情報を求める。さらに商品輸出の安全確保のための抜本的な対策をとるということをきちんと中国側に求めてもらいたいという点でございます。

知事会としては、この4点を早急に政府に申し入れをするということでございます。早急といいますのは、きょう発表しますが、実際に要請活動をしますのは、あした休みですから、あさって行う予定であります。政府が交代するど真ん中でありまして、なかなか大臣なんかは難しいかと思っておりますから、必要な場合には事務方を中心ととにかく急いで行動するということを求めていきたいと思っております。

以上2点です。

<質疑応答>

(記者)

幹事社から、まず地方分権に関してお尋ねします。

今回の麻生総裁への要望書というんでしょうか、これは直接、知事会長の方からお渡しになったりすることがあるのか、もしくは、近いうちに新総裁とお会いしたいというお気

持ちがあるか、そのあたりを教えてください。

(麻生全国知事会会長)

できるだけ近いうちに、知事会だけではなくて、地方六団体としまして、新総裁、新総理になれるんだらうと思いますが、早い時期にお会いして、我々の現在の地方の苦境、それから分権ということ強く求めるということをしていきたいと考えております。

ただ、実際にはご承知のとおり大変忙しくて、すぐ組閣をし、それからニューヨークに行かれるんですか、国連総会に。そういうことでありますので、なかなかすぐに、今週に実現するというのはちょっと難しいのかもしれない。

いずれにしても、知事会だけではなくて、六団体としてそういう行動をとっていきたいと思います。

(記者)

地方分権の要望の文書に関して、ご質問ありましたら、各社さんお願いします。

(記者)

自民党総裁選に関しまして、今日、22日に自民党の総裁が選出されましたが、前日の21日には小沢一郎民主党代表が3選を果たしたと。生活第一を訴えて、22兆円の財源の組み替えも公約としていっていかうということですが、それについてはどう思われますか。

(麻生全国知事会会長)

22兆円なんていうお金はどうやってひねり出せるんだらうかね。あれは何か今までの予算の中からひねり出すということのようですね。どうやってひねり出せるのかというのは、もう少し明確な説明がなければ、実行可能な政策かどうかという判断ができませんね。22兆円というのはものすごい額ですからね。どうやって出すんだらうね。やはり財源問題ですね。それがもうちょっと明確にならなきゃ、いろいろ言われてもその政策が実行可能なのかということになりますね。

(記者)

この件についてはよろしいですか。

(麻生全国知事会会長)

我が福岡県から、待望の自由民主党総裁が出ましたので。大いに日頃の抱負を、しっかりと抱負を持っておられますから、新総裁として、そしてまた、あさっては総理になれるわけですね。前向きの政策を実行して、日本をもっと明るい、また世界から尊敬される国になるということを目指して頑張ってもらいたいと思いますね。

(記者)

それでは、メラミンの混入のほうなんですけれども、今回の中国製の乳製品、それから、

その前は汚染米と相変わらず食の安全を脅かすようなことが続いておりますが、そのことに関して麻生会長はどのようなご感想をお持ちでしょうか。

(麻生全国知事会会長)

まず中国について言うならば、このところ中国の食品について、いろいろな事故が起きている。少し前は犬とか猫、ペットフードでたくさんのペットが死んだとかいう事件がアメリカで起こりましたが、これはどうもメラミンが原因らしいということですがね。ほかの国でもそういうことが起きている。日本では、例のギョーザ事件があって、これも日本側は、中国側に原因ありということで、随分共同調査をはじめやったんですけども、結局そうじゃないということを書いていたんですが、最近はまだ中国側に原因ありということに戻ったようですけどね。そしてまた、今回のメラミン事件ということでもあります。

中国食品に対する不安が非常に増大している中でありまして、しかもメラミンが乳あるいは乳製品に加えて、それを使った製品という形で日本に入ってきている。乳及び乳製品というところは直接ないらしいということまでは言われていますけれども、これもどうなっているかまだ明確な確認はできていないんじゃないでしょうかね。ということでありまして、健康被害という点でいうと、これは相当深刻に考えないかんという要素を含んでおりますから、ぜひこれについては、先ほど4点を求めましたけども、これをやってもらいたいと思います。

食品全体については、今おっしゃられた事故米の問題もあります。これはむしろ国内発生源の問題なんですね。これは大臣が辞任したりして、軸がない状態になってしまったけど、やっぱりちゃんと流通経路を確認して、必要な場合には回収するというようなことをきちんとやっていくということを徹底してやらなきゃいかんと思っております。

全般に食べ物は、我々の生命の根源であり、生活の根源ですから、こういうことについて、どうも信頼できない、不安があるという状態は極めて残念な事態でありますから、それぞれの問題に応じて、的確、機動的に国、あるいは我々行政機関は行動し、また必要な情報開示を速やかにやっていくということが大事だと思います。

(記者)

質問がありましたらお願いします。

(記者)

中国食品に関しては、これまでもいろいろな問題があったと思うんですが、ここまでの対応を求めたことは、これが初めてになりますか。

(麻生全国知事会会長)

知事会としては初めてですね。一般的な形で食の安全をもっと徹底するよということについては言っております。ただ、その際には、中国問題なんかも引用して言っていることがございます。

ただ、今みたいに明確にメラミン事件という格好で単独のことを取り上げて言っている

のは、今回が初めてであったかと思います。7月の知事会の際には、食品の安全問題を一つの項目として取り上げてやっております。

(記者)

今回、こういう対応をここまでとられる理由は何でしょうか。

(麻生全国知事会会長)

一つは中国側で子供たちが非常にたくさん病気になっておる、あるいは病院で治療を行っているけれども、やっぱり子供に被害を与えるという可能性があるんじゃないかということが一つ。それから、問題がずっと広がってきまして、乳及び乳製品からこれを使った製品にメラミンが混入しているということが、丸大食品をはじめ関係のところで判明しました。その意味でも対象が広がってきたということでもありますから、健康被害をちゃんと防止するという点では、しっかりした対策をとっていくということが非常に重要になってきていると認識をしておるからであります。

(記者)

輸入停止を求めるのは、中国からのすべての乳製品ということですか。

(麻生全国知事会会長)

これは乳及び乳製品はそうせないかんのじゃないでしょうかね。実は、シンガポールがもうこの措置をとって、ASEANの国の幾つかもそういう措置をとっているんですけどもね。やはり彼らもこれは危ないということで、輸入停止措置をとっています。日本政府も手続を何というのかな、サスペンドというのかな。

(福岡県)

保留をしています。

(麻生全国知事会会長)

保留をして、事実上とめているようなんですけども、それであれば、やっぱり明確な方針を出すべきだと思いますがね。

(記者)

FBS福岡放送のサイトウと申します。

今回、メラミンについて国に働きかけをするということは、知事会としては、農水省なり厚生労働省なりの国の動きが遅いとか対応が不十分であるという不満から出てきたものなんでしょうか。

(麻生全国知事会会長)

メラミン問題について、何をどうふうにしておるかということについての情報なりが、まだ明確に我々のほうに流れてきておりません。という状況で、一方で、丸大食品なんか

が、今まで考えられていたよりも広い範囲のところで問題がありそうだということで回収をしましたから、そういう事態の進行を見た場合には、我々は4点を指摘しておりますが、こういう点について、もう少し国は明確な方針を出していくことが必要であると考えています。

(記者)

知事、要請事項の1番のところで、「乳製品の輸入を明確に停止し」とあるんですけども、「明確に停止し」というのは、「禁止し」ということではないんですか。

(麻生全国知事会会長)

禁止というか、輸入手続上は保留という、窓口の手続をとりあえず処理を横に置いておく、いつまた戻すかわからんという状況になっていますから、それは輸入停止するということをはっきりさせたほうがいいということです。

(記者)

明確にとついているのは？

(麻生全国知事会会長)

明確にというのは、今の手続が保留なんていう、いつでもまた戻すのか、とめようとしているのか、方針としてよくわからないということだから、明確という言葉を使っています。

(記者)

なるほど。

それと、県の取り組みの中で、相談窓口を設置するというのは、いつからどのような形でやられるんですか。

(福岡県)

県の窓口は、通常24時間いつでも受けられる体制ができておりますので、いつでも連絡が我々のほうに来るようになっています。

(麻生全国知事会会長)

設置するという意味でいうならば、あさってからやります。

(記者)

あさってからですね。

(麻生全国知事会会長)

設置というか窓口は常にあるんですがね。だから、あえて設置という言葉を使ったのは、何かあった場合はこういう窓口を使ってくださいという意味です。ですから、メラミンのいろいろな照会があった場合にも、我々の窓口については、きちんと相談に応じるように

ということなのですが、質問のぐあいによってはなかなか相談に応じるだけの情報がないということもあり得るんですけれども、まずは、ここでメラミンというのはどういうものかということから始まって、相談に応じられるようにしろということを指示いたします。

(記者)

先ほど明後日に提出されるとおっしゃったんですけれども、これは知事自身がお持ちになるんですか。

(麻生全国知事会会長)

今、アポイントを求めているんですが、大臣クラスは組閣の日ですからなかなか難しいと思いますので、厚生労働省の次官以下にアポイントを求めている最中です。あさってです。

(記者)

相手は厚生労働省のほうに。

(麻生全国知事会会長)

あて先は大臣だけれども、会えるのは、おそらく大臣に会うのは難しいでしょう。

(記者)

知事がそちらのほうに行かれてということですか。

(記者)

行く予定です。

(記者)

では、よろしいでしょうか。
どうもありがとうございました。

—以上—